

# 花ちゃん、オー君、モンタ博士のわくわくドキドキ劇立ててく3

国立市立国立第七小学校

平成28年2月10日 NO.89 (289)

モンタ博士「♪花屋の店先にならんだ♪  
♪いろんな花を見ていた♪  
♪人それぞれこのみは…♪」

オー君 「うわあー！オンチ！」

モンタ博士「それでは、もう少し歌おう。」

オー君 「あの一。もういいですよ。

ところで、モンタ博士、

花屋さんの花って、

どうしていろいろなきれいな

花がいっぱいあるのですか。」

モンタ博士「そうだね。花屋さんの花はね、

もともと野生にあったのもあるけど、品種改良といってね、人間が作り出したものもあるんだよ。」

花ちゃん 「ふーん。そうなんですか。ところで、オー君は、どんな色のお花がすき。」

オー君 「そうだな、黄色もいいし、赤もいい、白い花っていうのもいいな。それに、むらさき色の花もけっこうすきだな。モンタ博士は何色のお花がすきですか。」

モンタ博士「そうだね。モンタ博士もこまっちゃうな。」

オー君 「モンタ博士、虫たちは、どんな色のお花がすきなんですか。」

モンタ博士「虫はどんな色のお花がすきか・・・それはいい質問だね。それでは、今日から虫たちは、どんな色のお花がお気に入りなのか・・・というお話をしよう。」

オー君 「わーい！わーい！わくわくドキドキだ。」

モンタ博士「あのね、虫たちは、種類によって好きな色がある程度決まっているのさ。」

花ちゃん 「え！ほんとうですか。」

モンタ博士「黄色がすきなのはアブタイプ、白色はコガネムシタイプ、むらさき色はミツバチタイプ、赤色の花がすきなのは、チョウタイプといわれているんだよ。」





モンタ博士「上のタンポポの写真をよく見てごらん。アブがいるのわかるかな。」

オー君 「アブは、早春いち早く活動を始めるんですよね。」

モンタ博士「アブは、ナノハナやタンポポなど黄色いお花が大すきなんだ。」

花ちゃん 「黄色は春のイメージがしますね。」

モンタ博士「でもね、アブは昆虫の中では、それほどおりこうさんではないらしいよ。  
黄色い花なら、何でもいいみたいだね。これがこまるんだね。」

花ちゃん 「どうしてこまるんですか。」

モンタ博士「たとえば、ナノハナにとまったアブが、そのまま、ほかのナノハナに行けば  
いいけど、タンポポやその他の種類の黄色い花に行ったのでは、受粉が  
できないので意味がない。花にとってはとてもめいわくな話というわけさ。」

オー君 「そうですね。」

花ちゃん 「それはこまりますね。」

モンタ博士「そこで、黄色い花は、1つ1つ別にさくのではなく、群生（かたまってさく  
こと）してさかせるようになったのさ。だから、タンポポやナノハナなど、黄色  
い花は、だいたい集まってさいていることが多いのさ。」